

# 【報告】小規模企業・組織のためのCSR導入手法研究 ～大企業・中小企業のCSR導入事例との比較検証～

Research program on CSR introduction approaches for small business  
- Comparative verification with cases studies of CSR introduction at large and small to medium businesses -

小規模企業・組織における効果的なCSR導入手法の実践研究。

小林 久美子  
Kumiko Kobayashi

デジタルハリウッド大学 メディアサイエンス研究所  
森 祐治研究室

[Profile]

デジタルハリウッド大学  
メディアサイエンス研究所  
森 祐治研究室 研究員  
小林 久美子  
Digital Hollywood University,  
Media Science Laboratory  
Yuji Mori Laboratory Researcher  
Kumiko Kobayashi

浅草九重女将。1980年株式会社  
セイコートラベルサービス入社。  
その後1985年よりスリランカ国  
當航空会社 AIRLANKA (現スリ  
ランカ航空) 入社。経理、総務の業  
務に携わる。結婚後、浅草九重女  
将として現在に至る。

2011年3月 デジタルハリウッド  
大学大学院を首席で修了 (DCM  
修士)。現在デジタルハリウッド  
大学メディアサイエンス研究所  
森祐治研究室研究員。ソーシャル  
ビジネスおよび小規模事業にお  
けるCSR導入研究を行う。  
英国 IEMA 認定サステナビリティ  
(CSR) プラクティショナー。

## 要旨

日本におけるCSRについての重要性や認知度は益々高くなってきているが、小規模企業が行うCSR活動は大・中小企業に比べ導入事例は非常に少ないのが現状である。また、行政やその他の組織が行うCSRに関する施策やサービスについても中小企業中心で小規模企業に特化したものが少なく、CSRの重要性を認識していても手法がわからず導入に至らないケースが多いのではと考える。

本研究は小規模企業が行う導入し易く、効果的なCSR導入手法とは何かを実践を行いながら、大企業・中小企業の手法と比較し検証するものである。

## 背景

CSR (Corporate Social Responsibility) とは、企業の社会的責任と訳され、企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダーからの要求に対し適切な意思決定をすることであり、日本においても大企業や中小企業ではCSR部門を設け活発に推進されている。2014年の世界経済フォーラム会議 (ダボス会議) で発表された「Global 100 – 世界で最もサステナブルな企業100社 –」には65位のダイワハウス他日本企業が合計5社選ばれている。小企業・個人商店などの小さな事業者でのCSR導入についてはCSR先進国の欧州でも今後力をいれなくてはならない課題のひとつであり、実例、成功例として挙げられる事業者は非常に少ないと言われており、小企業のCSR導入を促進するための活動に力を入れ始めている。

日本での小企業・個人商店レベルの事例については欧州よりも遅れている状態で、The Global Compactの4つの柱「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」やISO26000の原則である社会的責任の7原則「説明責任」「透明性」「倫理行動」「ステークホルダーの利益の尊重」「法秩序の尊重」「国際行動基準の尊重」「人権の尊重」をすべて含んだCSR活動というよりも、環境やボランティア活動そのものがCSRだと思われている風潮もある。

また、中小企業庁が平成25年12月に公表した中小企業・小規模事業者数の数 (2012年12月時点) は385万者で全規模の99.7%、そのうち小規模事業者 (全産業) が企業全体に占める割合は86.5%であるにもかかわらずCSR活動を実践し成果をあげている事例は非常に少なく、興味はあり、やってみたいが、人員不足、時間の制約、活動計画が作れないなどの理由でCSRを取り入れられない小規模企業も多くある。

筆者の住む東京都台東区浅草地域では、個人商店をはじめ小規模企業が多く商いを営んでいるが、積極的にCSR活動を行っている事業者は少ない。

しかし、2020年の東京オリンピック開催に向け、国内および海外からの訪問客に対するサービス向上のための計画は地域の観光連盟や組織、行政などで行われており、それに参加する小規模企業も多いことから、オリンピックをひとつのきっかけとしてCSRに興味を持ち、積極的に取り入れる小規模企業が増える可能性も否定できない。

2014年3月にSustaina Vision主催の英国IEMA認定サステナビリティ (CSR) プラクティショナー認定資格講習が開催された際の内容は大企業CSR担当者向けであったが、いくつかのポイントは小規模事業にも有効であり、小規模企業や組織が取り入れやすい手法を実践しながら見つけ出すことができないものかと考え本研究を進めることとした。

## 目的

小規模・組織のためのCSR導入手法を明確にし、導入する際に負担を軽減し円滑なCSR活動を継続できる可能性を高める。

## 調査対象および方法

実践研究

調査対象 (2014年度)

小規模企業 (菓子製造販売業・日本国東京都台東区浅草)

小規模企業とは中小企業庁の小規模企業者の定義を基本とする。

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業 (※)・サービス業	従業員5人以下

※商業とは、卸売業、小売業 (飲食店を含む) を指す。

事例研究

調査対象

大規模企業・中小規模企業および組織 (日本および欧州他)

CSRの導入初期段階では企業内の誰でも取り組みやすく参加しやすい項目を選び、従業員にCSRは自分たちでもすぐに取組めるという意識が生まれ、また、経営者には計画によっては経費がかからないという認識ができれば、それらを初期段階の

成果として次の段階ではより具体的な効果がでると思われる活動項目に取り組んで行く。

小規模企業のCSR行動計画を順次実践しながら大規模企業・中小規模企業の事例調査結果と比較、差分を分析、考察する。

## 年次計画

	研究項目
4月	CSR活動計画作成 (日本)
5月	CSR関連論文調査 (6月から12月予定)
6月	CSR導入のための小規模企業従業員への告知、情報収集
7月	CSR実践開始 (日本)
8月	IEMA(The Institute of Environmental Management and Assessment) への取材 (グローバルスタンダードのCSRと世界のCSR活動動向など)
9月	CSR事例調査 (Global 100 – 世界で最もサステナブルな企業100社 – 他)
10月	実践研究対象企業のCSR行動計画のインターネット上での公開
11月	CSR事例調査 (日本における小規模企業・組織などの実態調査)
12月	CSR事例調査 (海外における小規模企業・組織などの実態調査)
1月	CSR実践中間報告まとめ (日本)
2月	論文執筆開始
3月	論文完成 次年度実践研究準備

※必要事項が出た場合は順次追加する。

## 期待する成果

1. 小規模企業・組織がCSR導入に取り組みやすくなる。
2. 実践を行うことで、その周辺の小規模企業や組織への認知度が上がり、CSR活動希望者が出てくる可能性が高い。

## 考察

小規模企業・組織と大企業・中小企業のCSR活動において、その定義は同じでも導入手法や運営方法などの違いがある。具体的には、活動計画の優先順位の特定が重要であり、小規模企業・組織の場合は経営者が考える重要項目よりも、すぐに着手できる項目を優先することで、CSR活動計画がより企業・組織内で円滑に進む可能性が高くなると考える。

## 参考資料

### ウェブサイト

1. SustinaVision  
<http://www.sustainavisionltd.com>
2. Institute of Environmental Management & Assessment (IEMA)  
<https://www.iema.net>
3. GLOBAL 100  
<http://global100.org/global-100-index/>

4. 報告原則および標準開示項目: G4 サステナビリティ・レポート  
・ガイドライン 第一部 – 報告原則および標準開示項目  
<https://www.globalreporting.org/resourcelibrary/Japanese-G4-Part-One.pdf>

5. 実施マニュアル: G4 サステナビリティ・レポート  
・ガイドライン 第二部 – 実施マニュアル  
<https://www.globalreporting.org/resourcelibrary/Japanese-G4-Part-Two.pdf>

6. Reporting Principles and Standard Disclosures  
<https://www.globalreporting.org/reporting/g4/Pages/default.aspx>

7. Implementation Manual  
<https://www.globalreporting.org/resourcelibrary/GRIG4-Part2-Implementation-Manual.pdf>

8. 国連グローバルコンパクト  
<http://www.ungcn.org/gc/principles/>

9. ISO26000 関連  
<http://iso26000.jsa.or.jp/contents/>  
<http://www.csr-communicate.com/initiative/iso26000>  
<http://www.iso.org/iso/home/standards/management-standards/iso26000.htm>

10. 中小企業庁 中小企業・小規模起業者の定義  
<http://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html>

11. CSR コミュニティ  
<http://www.csr-com.jp>

12. 経済産業省「最近のCSRを巡る動向について」平成24年7月  
[http://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei\\_innovation/kigyokaikei/pdf/csr\\_seisaku.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/kigyokaikei/pdf/csr_seisaku.pdf)

13. CSR JOURNAL  
<http://www.csr-journal.com>

## 書籍

1. 海野みづえ, 企業の社会的責任 [CSR] の基本がよくわかる本, 中経出版, 2009年